

2025（令和7）年4月18日
中野区介護サービス事業所連絡会

2025（令和7）年度
中野区介護サービス事業所連絡会総会：次第

1. 開 会

(1) 会長挨拶

(2) 来賓挨拶

中野区長 酒井 直人 氏

中野区地域支えあい推進部長（地域包括ケア推進担当部長兼務）

石井 大輔 氏

中野区介護保険課長 落合 麻理子 氏

(3) 中野区議会議員団各会派紹介

2. 第1部 総会（午後6時15分から）

(1) 議長選出

(2) 議案の提出

(3) 審議

①第1号議案

2024（令和6）年度事業報告・決算（案）について

②第2号議案

2025（令和7）年度事業計画・予算（案）について

③第3号議案

運営委員の選出（案）について

3. 第2部 講演会（午後7時05分から）

(1) 来賓挨拶

中野区医師会 会長 渡辺 仁 氏

(2) 講演会

テーマ：「中野区の認知症施策」

講師：医療法人社団朋友会 宮嶋メディカルクリニック 宮嶋 剛氏

4. 閉 会 （午後8時00分終了予定）

※閉会后、参加者同士で名刺交換会を行います。この機会に事業所同士の交流を深めましょう。当日は、名刺を持参ください。

2024(令和6)年度事業報告

I. 2024(令和6)年度 事業報告総括

令和6年度は、介護現場を取り巻く環境が大きく変化する中で、当会としても新たな取り組みを推進した一年となりました。特に、介護人材の確保・定着が重要課題ではありますが、介護現場で働く皆様の環境を少しでも改善することが、人材流出を防ぐこととなります。そのために行政・議会との連携強化が重要課題と位置づけ、各種活動を展開しました。

令和6年度の大きな成果の一つとして、8月に開催した政策懇談会が挙げられます。区議会の各議員団に対し、「オートロックマンションにおける訪問看護・訪問介護の緊急時対応に関する問題点」や「生活保護受給者の増加に伴う施設負担の拡大」など、現場の声を届けました。この場を通じ、一部の議員からは具体的な解決策の提案がなされ、今後の政策立案に向けた第一歩を踏み出すことができました。また、中野区との意見交換の場を積極的に設け、介護サービス事業所が直面する実務的な課題について議論を重ねました。

地域との連携強化では、中野区の新庁舎で初めての開催となりました「介護の日イベント」での区民向けの福祉相談会、介護の魅力を発信する場としてのパネル展示や、区長賞表彰を通じて、介護従事者の努力を広く周知することができました。また新たな取り組みとして、デイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホームの施設ご利用者が製作された作品をお借りして展示させていただきました。

令和6年度は、いよいよ団塊の世代が後期高齢者となり、本格的な地域包括ケアシステムの運用が求められます。当会としては、今後も行政や関係機関と連携しながら、会員事業所の皆様と共に、より良い介護環境の構築に向けた取り組みを進めてまいります。

令和6年度の重要活動目標として

1. 部会間、地域団体との密接な関係作り
2. 中野区との定期的な意見交換の実現

この2つを掲げ、達成に向け、①研修・交流チーム、②広報・地域連携チームの2つのチームに分け活動を行いました。

以下に主な活動実績を報告します。

① 研修・交流チーム

令和6年度は運営委員皆で熟慮の結果、中野警察署の方々の講義と演習を企画運営しました。高齢者に一番接する機会が多い私たちが、最近頻発している緊縛強盗や闇バイト等の中野区の状況やさすまた等の使い方を学ぶ専門職研修としました。関心のある区民の皆様やオンラインで参加のデイサービスのご利用者等60名を超える参加があり、防犯アプリの紹介も好評でした。来年度はすでに運営委員より積極的な研修案も挙がっており、今後も活発に意見交換し、会員、専門職の質の向上を図ります。

令和7年度は研修チーム運営委員から積極的に挙がっている研修案や多職種に共通する課題をチームで熟考し、更に区民の皆様に還元できるよう専門職の質の向上を図る研修を行っていききたいと思います。

② 広報・地域連携チーム

年4回の広報誌（ハートフルケアなかの）発行を行いました。発行に関しては年間の計画をたて役割分担を行うことでチームメンバーの負担を軽減するよう努め、昨年に引き続き新規加盟事業所の取材を行い、活動を知っていただけるようできるだけ写真も入れた報告を行いました。

中野区役所で開催された「介護の日イベント」にて、広報誌の配布を積極的に行いながら介護や介護事業所を地域の方に知っていただく取り組みを行いました。中野区役所、社会福祉協議会などが行う会議への参加やまちなかサロンの開催、MIKAN～認知症と地域づくりと健康福祉～の他、地域のイベントに積極的に参加し、専門性を活かした地域貢献を通して地域や関係団体との連携に努めました。

また初めての取り組みとして、東京都福祉局が運営する「フクシを知ろう！なんでもセミナー」に協力し、東京都立稔ヶ丘高校の生徒に福祉の仕事の魅力を伝える講義を行いました。受講後のアンケートでは、96%の生徒が福祉や福祉の仕事に対するイメージが良い方向に変化がありました。

【実績報告】

- 中野区関係係との意見交換
- 中野区議会各会派と予算要望意見交換
- 中野区研修への関わり
- 物価高騰対策支援金支給へ寄与
- 中野区介護サービス事業所連絡会 区長賞の開催
- 中野区役所新庁舎で「介護の日イベント」開催（中野区との共同開催）
- 中野区役所ナカノのナカニワパネル展示
- 中野駅ガード下ギャラリー夢通り 小規模多機能部会パネル展示
- 東京都福祉局「フクシを知ろう！なんでもセミナー」（都立稔ヶ丘高等学校）へ講師派遣（正副会長会、訪問介護部会、通所介護部会、福祉用具・住宅改修部会）

以上のように、令和7年度は、長年の取り組みを継続するもの、そして課題に対して新たな視点で取り組むものなど、経験を糧に、未来を創る視点で、当会運営委員を中心

に、各部会、会員事業所と一致団結して活動します。

また、下表の会議に本会会員を推薦・派遣し、関係各所との連携を図りました。

中野区健康福祉審議会委員
中野区地域包括支援センター運営協議会委員
中野区高齢者・障害者虐待対応連絡会委員
中野区成年後見制度連携推進協議会委員
中野区社会福祉協議会評議員
いきいきプラン推進委員会委員
中部すこやか福祉センター地域ケア会議
南部すこやか福祉センター地域ケア会議
北部すこやか福祉センター地域ケア会議
鷺宮すこやか福祉センター地域ケア会議
中野区地域包括ケア推進会議在宅療養推進部会委員
中野区地域包括ケア推進会議ヤングケアラー協議会
中野区社会福祉協議会ほほえみサービス事業運営委員
中野区介護認定審査会委員
中野区在宅療養推進協議会委員

Ⅱ．基調講演、全体研修、区との共催研修・事業等の実施状況

1. 当会主催の講演会及び全体研修

事業名	開催日	テーマ・講師	参加者
総会	4月19日(金)	中野区医師会館開催(正会員事業所 総会出席:53 事業所、委任状:59 事業所) 基調講演会 テーマ:「新型コロナウイルス感染症 に学ぶ医療と介護の連携」 講師:医療法人社団朋 友会 宮嶋メディカルクリニック 宮嶋剛 氏	87名
全体研修	1月27日(月)	中野区介護サービス事業所連絡会 全体研修 「防犯講習会～防犯の知識を学ぼう」 講師 中野警察署 生活安全課防犯係長 酒井 健太郎 警部補	中野区役所1階 ナカノバ 40名 オンライン 22名

2. 中野区と当会の共催研修 (9回)

事業名	開催日	研修テーマ	参加者
第1回 介護支援 専門員研修	8月26日	介護支援専門員倫理綱領研修	135名 (69事業所)

第2回 介護支援専門員研修	11月22日	業務の効率化、ITの活用方法	117名 (62事業所)
地域ケアマネ支援研修	2月25日	プライバシー保護に関する研修	116名 (66事業所)
サービス提供責任者研修	11月13日	医療介護連携のポイント	14名 (12事業所)
ケアマネジャー・サービス提供責任者研修	1月24日	「医学知識」 医師がケアマネに持ってほしい医療知識	122名 (64事業所)
介護従事者研修	7月30日	「介護技術」 精神疾患のある利用者への支援	42名 (30事業所)
介護従事者研修	10月8日	「実務・実践研修」 終末期の支援	20名 (14事業所)
介護従事者研修	8月8日	「認知症ケア」 認知症高齢者の生きがいを支えるアクティビティケア	31名 (25事業所)
介護従事者研修	2月10日	「その他」 リスクマネジメント研修	20名 (15事業所)

Ⅲ. 各部会活動

1. 介護支援専門員部会

令和6年度活動

- ① ケアマネジャーのサポート（メンタルヘルス・交流会）
- ② ケアマネジャーの資質向上（研修等・主任CM連絡会）
- ③ 地域連携・感染・災害・広報等

（令和6年度役員体制）

役職・役割	氏名	事業所
会長	宮原 和道	NPOピクニックケア
副会長（事業所連絡会担当）	三枝 麻美	あいわ介護中野居宅介護支援事業所
副会長（事務局、会計）	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
地域連携・感染・災害・広報等	加藤 信子	しらさぎ介護保険センター
CMの資質向上	大貫 恵美	ケアステーションみなみ風 中野

CMサポート	中山 大輔	しあわせケアサービス
CMサポート	大場 秀子	江古田地域包括支援センター
CMサポート	和田 和子	桜フローラル
CMの資質向上	田邊 智子	大起エンゼルヘルプ 中野ケアセンター
地域連携・感染・災害・広報等	中條 知子	江古田ケアマネジメントセンター
地域連携・感染・災害・広報等	布施 絹枝	中野北地域包括支援センター
CMの資質向上(CMAT担当)	平澤 多香子	介護ステーションぽけっと
地域連携・感染・災害・広報等	益岡 伸江	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
CMサポート (区西部緩和ケア担当)	廣野 紗矢香	ケアプロ在宅支援センター東京
地域連携・感染・災害・広報等	松木 孝江	パルシステム東京 中野陽だまり
CMの資質向上	築田 晴	南中野地域包括支援センター
CMサポート	皆川 明美	あおば
地域連携・感染・災害・広報等	北村 京子	クリオケアセンター
地域連携・感染・災害・広報等	布川 文子	グリーンケア 中野

(令和6年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4 月	定例役員会 4/18 オンライン会議	総会 4/19
5 月	定例役員会 5/16 オンライン会議	主任ケアマネ連絡会 5/16 オンライン研修(講師:北部主任担当)
6 月	定例役員会 6/20 オンライン会議	

7 月	定例役員会 7/18 オンライン会議	主任ケアマネ連絡会 7/18 オンライン研修（講師：鷺宮主任担当）
8 月	定例役員会 8/15 オンライン会議	
9 月	定例役員会 9/19 会場・オンライン会議	ケアマネ部会主催全体交流会 9/19 会場・オンライン研修（中野区の災害時 支援体制について）
10 月	定例役員会 10/17 オンライン会議	日本介護支援専門員協会全国大会 10/26. 27 日本介護支援専門員連盟総会 10/27
11 月	定例役員会 11/21	主任ケアマネ連絡会 11/21 オンライン研修（講師：南部主任担当） 介護の日主任ケアマネジャー相談窓口 11/7. 8 中野区総合防災訓練 11/10. 24
12 月	定例役員会 12/19 オンライン会議	
1 月	定例役員会 1/16 オンライン会議	主任ケアマネ連絡会 1/16 オンライン研修（講師：中部主任担当）
2 月	定例役員会 2/20 オンライン会議	
3 月	役員会 3/13 オンライン会議	主任ケアマネ連絡会 3/13 オンライン

※役員会及び研修は、法定研修に沿いオンラインを優先とする

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
広報費		4,226	
研修講師費		20,000	
振込手数料・雑費		8,843	
合 計	50,000	33,069	16,931

※感染対策のため予算内で内容を流用する場合がある

○介護支援専門員部会活動総括

令和6年度はケアマネジャー同士の顔の見える関係作りを行い、ケアマネジャー同士が相談できる関係作り、主任ケアマネジャーが応援しやすい関係作りを行うため、令和5年度から引き続き、ケアマネジャーのサポート、ケアマネジャーの資質向上、地域連携・感染・災害・広報等3つのチームの活動を行いました。

① ケアマネジャーのサポート

ケアマネジャーの相談窓口を明確にし、活動を行いました。各エリアの交流会に積極的に参加し、地域のケアマネジャーが困りごとを抱え込まず質の高いケアマネジメント業務を行えるよう、サポート体制の強化を意識した活動ができました。今後も交流の機会をより多く持ち、ケアマネジャーの横のつながり、相談できる関係作りのさらなる構築を図っていく必要があると考えます。

② ケアマネジャーの資質向上

主任ケアマネ連絡会では令和6年度も各地域の主任が講師として講義を行いました。主体的に有意義な学びを得ることができ、ケアマネジメントの質の向上を図ることができました。今後も地域の介護の要として役割を果たしていけるよう、常に資質の向上を目指していく必要があると考えます。

③ 地域連携・感染・災害・広報等

令和6年度も中野区総合防災訓練に多くのケアマネジャーが参加しました。地域や各関係機関との交流を図りながら連携を深め、ケアマネジャーの啓蒙活動を継続できました。今後は高齢者だけでなく若い世代、ファミリー層、幅広い世代の方に参加いただけるよう、ご家族と接する機会のあるケアマネジャーができる働きかけを行っていく必要があると考えます。

東京都介護支援専門員研究協議会（日本介護支援専門員協会東京都支部）、日本介護支援専門員協会、日本介護支援専門員連盟との連携を継続できました。今後も継続し、地域や行政と連携しながらケアマネジャーが地域を支えられる体制作りを構築していく必要があると考えます。

2. 訪問介護部会

（令和6年度役員体制）

役 職	氏 名	事業所
会 長(研修)&会計	畑野 由樹	ケアリッツ中野
副会長(認知症)	戸澤 由希子	ケアセンター希
副会長(交流会)	江田 舞	介護ステーションぽけっと
副会長(研修)	関本 貞治	みずたま介護ステーション
書記(研修)	大江 亮平	たんぼぼ介護
(研修)	田山 美紀	みずたま介護ステーション
(研修)	金子 洋平	ヘルパーステーション中野
(研修)	大江 亮平	たんぼぼ介護
(研修)	岩根 誠	クリオケアセンター
(認知症)	五味 尚代	ヘルパーステーション中野の郷
(認知症)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷

(交流会)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(交流会)	白須 明日香	らいふ・ふれあい介護
(交流会)	田村 竜介	ケアセンター希
(交流会)	飯田 梨沙	東電さわやかケア中野
(交流会)	佐々木 美幸	東電さわやかケア中野
	宇田川 徹	ユースタイルケア新中野
	中山 一郎	ユースタイルケア新中野
	堀口 佳奈	ユースタイルケア新中野

(令和6年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会	
6月	定例役員会	
7月	定例役員会	
8月	定例役員会	
9月	定例役員会	
10月	定例役員会	
11月	定例役員会 介護の日PRイベント 11/27 通所介護との交流会	
12月	定例役員会	
1月	定例役員会	
2月	定例役員会	
3月	定例役員会 全体研修「訪問介護におけるカスタマーハラスメント研修」 講師；栗原 知女 先生	

※開催場所は、スマイルなかの3階会議室 18:30～20:30 で実施

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
交流会費		0	
研修費		35,000	
合 計		35,000	15,000

○訪問介護部会活動総括

オンラインを併用しつつ毎月役員会を行い、それぞれの訪問介護事業所の状況などの情報共有を行いました。11月には通所介護部会との交流会、3月には全体研修を開催しました。

令和7年度は全体研修、交流会の回数を増やし、活動を行っていただきたいと思います。介護の日イベントでは、毎年、地域住民に訪問介護についての理解を深めていただくために地域のヘルパーのやりがいの提示、配布を行っています。こちらも引き続き行うことができればと思っています。

3. 通所介護部会

(令和6年度役員体制)

	氏 名	事業所
会 長	西川 陽平	デイサービス宙
副会長	高橋 芹香 望月 仁弘	デイサービスセンター江古田の森
運営委員	高森 千春 高橋 亮子	パルシステムデイサービス陽だまり 中野の郷ぷりむら
広報・ホームページ	塚本 夏香	デイサービスセンターふじみ苑
広報・ホームページ	望月 仁弘	デイサービスセンター江古田の森
研修オンライン会議	大草 良二	SOMPO ケア新中野
研修オンライン会議	高森 千春	パルシステム東京デイサービスセンター中野陽だまり（ひだまり）
会計	山口 幸美	松が丘高齢者在宅サービスセンター
イベント	田中 美佐子	中野共立診療所 通所リハビリテーション
イベント	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら

(令和6年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4 月	定例役員会・総会 zoom	参加 3 名
5 月	定例役員会 zoom	参加 5 名
6 月	定例役員会 zoom	参加 7 名
7 月	定例役員会 zoom	参加 2 名
8 月	全体会実施 介護支援専門員部会・訪問介護部会交流会 zoom	参加 16 名
9 月	定例役員会 zoom	参加 9 名
10 月	定例役員会・意見交換会 zoom	参加 7 名
11 月	全体会実施・介護の日イベント・訪問介護部会との交流研修	参加 6 名
1 月	全体会実施 zoom	参加 6 名
2 月	全体会実施 zoom	参加 6 名
3 月	全体会実施 zoom	参加 11 名

○会計報告

(単位：円)

内容	収入	支出	残高
部会費	50,000	0	50,000
合計	50,000	0	50,000

○通所介護部会活動総括

令和6年度も日中の開催でも事業所の都合等により集まるのが難しい状況が続きました。8月に介護支援専門員部会・訪問介護部会の皆様にお集まりいただきアドバイスをいただきました。役員会ではなく全体会を毎月行うことに変えました。話し合いの結果、18時30分(夜間)から行う方が集まれるという事業所がほとんどでした。9月以降は10事業所を超える参加があった月もあり、新しい事業所の皆様も参加し始めているため、今後も毎月、全体会を中心として積極的に行いたいと思います。

4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和6年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	米倉 雄介	株式会社アースシステム
副会長・会計	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ
広 報	上野山 成人	あけぼの介護センター
監 査	加藤 宗義	ダスキンヘルスレント新宿ステーション
書 記	山路 尚範	株式会社アースシステム

(令和6年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4/19	事業所連絡会総会	
5/16	定例会	参加8名
6/20	定例会	参加4名
7/18	定例会	参加5名
8/22	定例会	参加6名
9/19	定例会	参加5名
10/17	中野区との意見交換会	参加5名
10/17	定例会	
11/7・8	介護の日(中野区役所)福祉用具の展示	

11/21	定例会	参加 8 名
12 月		運営会議開催なし
2025/1/16	定例会	参加 7 名
2/20	定例会	参加 6 名
3/25	部会主催研修	参加 20 名
3/25	定例会	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
雑費		3,401	
合 計	30,000	3,401	26,599

○福祉用具・住宅改修部会活動総括

令和 6 年度は、区議会各党の政策懇談会や中野区との意見交換会において、建設的な意見を提案することができました。

介護の日イベントでは多数の方々にお立ちよりいただき、福祉用具の体験機会を通して福祉用具に関する理解を深めていただくことができました。また東京都の事業である「フクシを知ろう！なんでもセミナー」に参加し、中野区の高校生に対して訪問型セミナーを実施し、介護・福祉の仕事の魅力を微力ながら発信することができました。

令和 6 年度 4 月より、一部福祉用具において、レンタルと販売の選択制が導入されました。部会内で情報共有をしながらサービスを受ける方が安心して生活が送れるように、今後も努めてまいります。

引き続き区内のイベントに積極的にに関わり、他職種の専門家と連携をとりながらよりよいサービス提供ができるよう努めてまいります。

5. グループホーム部会

(令和 6 年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会長・運営委員	前田 勝彦	グループホーム夢
副会長・運営委員	中村 正司	楽しい家 中野江古田
会計	前田 勝彦	グループホーム夢

(令和6年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4 月	総会	
5 月	定例会	
6 月	定例会	
7 月	定例会	
8 月	定例会	
9 月	定例会	
10 月	定例会 政策懇談会	
11 月	定例会 介護の日イベント	
12 月	休み	
1 月	定例会	
2 月	定例会	
3 月	定例会	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代		33,200	
研修資料印刷代		5,400	
合 計	50,000	38,600	11,400

○グループホーム部会活動総括

令和6年度は令和5年度に行なえなかった研修会、GH交流会を企画しました。介護の日イベントでは初の試みとして作品展に入居者の作品を展示し、多くの方に見ていただくことができました。一方で、令和6年度は定例会の曜日変更を行ないましたが、変わらず部会の参加率は低下しており、思うような話し合いの場が持てないのが現状であり、課題として残っています。

6. 訪問看護部会

(令和6年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	川崎 広志	なごみ訪問看護ステーション
副会長	大城 一恵	あかね訪問看護ステーション
副会長	神野 真紀	あけぼの訪問看護ステーション

書 記	佐藤 靖子	訪問看護リハビリテーションだるま
書 記	東條 茉莉子	ホームケア都立家政
書 記	内田 繭子	ケアプロ訪問看護ステーション
書 記	椎名 真紀	ユースタイルケア中野 訪問看護
会 計	松井 薫	中野区医師会訪問看護ステーション
会計監査	工藤 利香	新新渡戸記念訪問看護ステーション
	山田 万亀	ホームケア中野
	鈴木 法経	カリス訪問看護ステーション

(令和 6 年度活動報告)

日程	係	活動内容
4 月	・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 訪問看護部会 ・ BCP（随時実施）	看護部会での協議
5 月	・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 役員会	新規連絡会参加者説明会あり
6 月	・ 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 中野区地域精神保健連絡協議会（年 2 回未定） ・ 訪問看護部会 ・ 東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員（年 2・3 回看護部会開催時）	事業所連絡会 総会開催 予算活用検討（物品購入・交流会など）
7 月	・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 役員会 ・ 中野区防災訓練実行委員会（防災係）	日程・実施内容確認
8 月	・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 訪問看護部会（懇親会含）	
9 月	・ 研修係 ・ 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 区西部緩和ケア部会 ・ 役員会	看護師向け研修 役割決め・作業内容確認
10 月	・ 介護サービス事業所連絡会（第 3 水曜） ・ 訪問看護部会 ・ 中野区防災訓練実行委員会（防災係）	実施内容最終確認
11 月	・ 中野区総合防災訓練（南部・北部）	防災の日参加

	・イベント係 ・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・役員会	外部との懇親会開催 介護の日開催
12月	・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・区西部緩和ケア部会 ・中野区地域精神保健連絡協議会（年2回未定） ・訪問看護部会 ・東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員（年2・3回看護部会開催時）	進行状況確認・編集内容協議 予算活用検討（物品購入も含む）
1月	・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・看護部会 ・区西部緩和ケア部会	来期役員・係の検討・各係の活動報告提出まとめ・マニュアル見直し 編集内容最終確認・発行部数確認
2月	・研修係 ・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・区西部緩和ケア部会 ・役員会	ヘルパー・ケアマネ向け研修 今期活動報告提出 今期振り返り 来期役員・係決め
3月	・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・訪問看護部会（懇親会含）	総会に向けての準備 来期役員・係決定

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
看護師向け研修		5,298	
ACP研修		15,680	
合計	50,000	20,978	29,022

○訪問看護部会活動総括

令和6年度は2カ月ごとに開催しました。開催時には連絡事項の伝達・制度変更の周知（再確認）やグループワークによる現場での悩みなど、活発な意見交換がみられました。また、各係の活動をマニュアル化することで円滑に業務が進み、次年度への移行がスムーズにできるよう内部体制の整備も実施しました。顔の見える関係作りができるように、訪問看護師・ヘルパー・ケアマネ向けの研修の実施や薬剤師会との懇談会の開催、

各連絡協議会へ参加し、外部の皆様との連携作りにも力を入れました。今後も地域の一人として皆様の力になれるよう、また訪問看護部会の役割が果たせるように取り組んでいきます。

7. 介護老人福祉施設部会

(令和6年度役員体制)

役職	氏名	事業所
部会長	竹田 真司	弥生ホーム
副会長	松永 謙一	東京令和館中野
会計	田村 晃司、中島 寛子	友愛ホーム、江古田の森

(令和6年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	定例会	
5月	定例会、全体での情報共有（感染状況・加算取得について等）	オンライン
6月	定例会、全体での情報共有（人材不足について等）・施設見学	対面式（江古田の森）
7月	定例会、全体での情報共有（育成・指導等）	オンライン
8月	定例会、全体での情報共有（補助金・助成金）	オンライン
9月	定例会、全体での情報共有（虐待防止について等）	対面式（しらさぎホーム）
10月	定例会、全体での情報共有（事故防止について）	オンライン
11月	定例会、外部講師による合同研修会（困った職員の対応について）、介護の日イベント	オンライン
12月	定例会、全体での情報共有（感染症対応について等）、施設長交流	対面式（東京令和館中野）
1月	定例会	
2月	定例会、外部講師による合同研修会（折れない心の作り方）	オンライン
3月	定例会	

※定例会は全てオンライン

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		50,000
ガイドブック (200部)		20,080	
雑費		3,351	
合 計	50,000	23,431	26,569

○介護老人福祉部会活動総括

介護老人福祉施設部会は、リモートによる定例会や研修会に加えて、対面式の交流会を再開しました。計3施設で開催し、施設見学会も実施しました。顔合わせをすることにより、以前よりも相談や連携がとりやすくなっていると思います。人材不足や育成などの課題は今後も継続していきますが、部会全体で課題解決に取り組む他、事業所連絡会のイベント参加や他部会との交流にも積極的に参加できるように取り組んでいきたいと思っています。

8. 小規模多機能型居宅介護部会

(令和6年度役員体制)

役職	氏名	事業所
部会長	岡 美姫子	東中野キングス・ガーデン
副会長 (会計)	岩川 優子	しらさぎ桜苑
副会長	野澤 光太郎	倶楽部千代田會館

(令和6年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	4/24 定例会	オンライン会議
5月	5/20 職員交流会(事例検討会) 5/28 定例会	オンライン会議
6月	6/25 交流・研修会	千代田會館見学
7月	7/23 定例会(要望書作成)	オンライン会議
8月	8/27 定例会	オンライン会議
9月	9/24 定例会	オンライン会議
10月	10/24 定例会	オンライン会議
11月	11/20 交流・研修会	えごたの家見学
12月	12/19 定例会	オンライン会議

1 月	1/16 定例会（来年度の役員決め）	オンライン会議
2 月	2/20 交流・研修会	しらさぎ桜苑見学
3 月	3/13 交流・研修会	愛の家見学

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
ガイドブック印刷費		48,756	
合 計		48,756	1,244

○小規模多機能部会活動総括

令和 6 年度は、オンラインでの部会開催の他、事例検討会や施設見学会を開催し、職員交流を行うことができました。

年度末になりましたが、小規模多機能型居宅介護のガイドブックを作成することができましたので、令和 7 年度の小規模多機能型居宅介護の P R 活動に役立てたいと思います。

当初、第 4 火曜日に部会を開催していましたが、事業所の会議と重なる事業所があったため、第 4 木曜日の 14：00～15：00 に変更して部会を開催しました。

中野区介護サービス事業所連絡会2024(令和6)年度決算

単位:円

	科 目	内 容	6年度 予算額	6年度 決算額	差異額
1 収入	会費収入	@5,000円×111 @8,000円×59 @2,500円×1 @1,000円×10	1,042,000	1,039,500	△ 2,500
	広報・啓発補助金		500,000	352,160	△ 147,840
	2024年度繰越金		360,441	360,441	0
	利子収入		7	86	79
	合 計		1,902,448	1,752,187	△ 150,261

	科 目	内 容	6年度 予算額	6年度 決算額	差異額
2 支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、会場費等	80,000	40,960	△ 39,040
	部会活動費	8部会	380,000	203,235	△ 176,765
	イベント参加費等	介護の日パネル展示、ポスター・チラシ等	20,000	138,916	118,916
	介護サービス事業功労者表彰	賞状用紙、筒、会場盛花、レッドカーペット等	200,000	59,599	
	広報活動費	広報活動に伴う費用(名刺・郵送代等)、区民向け広報・啓発、ホームページ運営費用等	490,000	229,653	△ 260,347
	事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000	710,000	0
	予備費	硬貨入金手数料		220	220
	合 計		1,880,000	1,382,583	△ 357,016

〔収支差引額〕

1,752,187円－1,382,583円＝369,604円

(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

上記の収支報告を監査した結果、適正に執行されていると認めます。

2025(令和7)年 4月 3 日

監事

駒野登志夫



2025(令和7)年度事業計画

1 運営方針

昨年度の介護保険報酬改定により、訪問介護の単位数が引き下げられ、介護現場の人材確保が一層厳しくなりました。また、物価高騰の影響で事業運営が難しくなり、小規模事業所の倒産が全国で172件に達するなど、経営環境の悪化が続いています。2025年以降、介護需要の急増が予測される中、事業所単独での対応には限界があり、もはや介護の課題は業界内だけの問題ではありません。行政・議会・商店会・不動産業界など、地域の多様な団体との連携が不可欠となっています。空き家の有効活用や高齢者の居住支援、地域の見守りネットワークの構築など、多方面からの支援が求められています。

また、昨年末からのインフルエンザ流行に加え、新型コロナウイルス感染症は5類に移行したものの、利用者や家族、職員の感染が続いており、感染防止対策を引き続き徹底する必要があります。

こうした状況の中、中野区介護サービス事業所連絡会は、会員事業所への情報提供や研修の企画を行うとともに、中野区との意見交換会を通じて、現場の課題を共有し、業務の効率化を推進してきました。今年度は、これまで以上に介護現場を支える介護従事者の皆さんを守るために現場で負担となっている課題を解決していきます。

また、本会は設立23年目を迎え、会員数も増加していますが、現状に即した規約の見直しが必要な時期となっています。中野区との意見交換会も、より実効性のある施策へと発展させ、行政や地域団体との連携を強化することで、持続可能な介護体制の確立に取り組んでいきます。

【 重要活動目標 】

1. 中野区介護サービス事業所連絡会の規約の見直し

運営委員の中で規約の見直しチームをつくり、2年後の総会に提出できる草案を作成して、現状に合った運営ができるようにしていきます。

2. 部会間、地域団体との交流の継続と関係づくりの深化

部会間の交流は活発に行うことが少なかった昨年度の反省から、運営委員の積極的な行動により交流の機会をさらに深化させていき、介護サービス事業所連絡会の役割

を果たしていきます。また、地域団体との交流もさらに継続して、協働して地域で役立つことを実践していきます。

3. 部会長との交流会

介護サービス事業所連絡会の重要な役割は、会員の皆さんが現場で抱える課題を少しでも解決し、負担を軽くすることだと考えています。日頃、各部会で議論されている課題と考えを各部会長とゆるく話し合う場を持ちたいと思います。

4. 中野区との意見交換会の継続と課題について改善するための勉強会の実践

年1回意見交換会を行っていましたが、現場の課題の共有に留まらず、改善するために区の担当者と勉強会等を重ね、あるべき姿に近づけていくことを進めていきます。

【昨年度実績】

- 中野区関係係との意見交換
- 中野区議会各会派と予算要望意見交換
- 中野区研修への関わり
- 物価高騰対策支援金支給へ寄与
- 中野区介護サービス事業所連絡会 区長賞の開催
- 中野区役所新庁舎で「介護の日イベント」開催（中野区との共同開催）
- 中野区役所 ナカノのナカニワパネル展示
- 中野駅ガード下ギャラリー夢通り 小規模多機能部会パネル展示
- 東京都福祉局「フクシを知ろう！なんでもセミナー」（都立稔ヶ丘高等学校）へ講師派遣（正副会長会、訪問介護部会、通所介護部会、福祉用具・住宅改修部会）

1. 介護支援専門員部会

令和7年度活動

1. 地域連携担当（ケアマネジャーの地位向上）
2. 研修担当（ケアマネジャーの資質向上）

（令和7年度役員体制）

役職・役割		氏 名	事業所
会長 （日本介護支援専門員連盟担当）		宮原 和道	NPOピクニックケア
副会長 （事務局・ケアマネ相談担当）		三枝 麻美	NPOピクニックケア
副会長 （事業所連絡会・会計担当）		星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
北チーム		田中 文子	朝焼け中野事業所
		鶴田 初美	ケアサポートすずらん
		前島 慎也	しらさぎ介護保険センター
		西尾 紀明	中野北地域包括支援センター
		和田 和子	桜フローラル
南チーム	（CMA T担当）	平澤 多香子	介護ステーションぽけっと
	（区西部緩和ケア担当）	廣野 紗矢香	ケアプロ在宅支援センター東京
		益岡 伸江	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
		生沼 順子	中野地域包括支援センター
		布川 文子	グリーンケア 中野
		皆川 明美	あおば

（令和7年度活動計画）

日程	活動内容	備 考
4月	役員会	中野区介護サービス事業所連絡会総会（4/18）
5月	役員会	
6月	役員会	日本ケアマネジメント学会（6/28-29）
7月	役員会 主任ケアマネ連絡会	
8月	役員会	
9月	役員会	

10 月	役員会 主任ケアマネ連絡会	
11 月	役員会	日本介護支援専門員協会全国大会（11/1-2） 介護の日主任ケアマネジャー相談窓口 中野区総合防災訓練
12 月	なし	
1 月	役員会	ケアマネ部会主催全体交流会賀詞交歓会（案）
2 月	役員委員会	
3 月	役員会 主任ケアマネ連絡会	

※役員会及び研修は、法定研修に沿いオンラインを優先とする

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
広報費		10,000	
研修費		30,000	
交通費・活動費・通信費		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

※感染対策のため予算内で内容を流用する場合がある

○介護支援専門員部会活動方針

ケアマネジャーの減少によりサービス利用ができないことが無いように、業務の効率化とケアマネジャーの魅力発信、地域への普及啓発を行い、2025 年問題、2040 年問題に対する縦の連携と横の連携を再度確認していきます。

- ① 地域連携担当は、ケアマネジャーの地位向上を目指し、広く広報や社会参加しケアマネジャーの業務の魅力を伝えていきます。中野区主催の介護の日主任ケアマネジャー相談窓口や、中野区主催の総合防災訓練、地域の防災訓練などに協力していきます。また、他部会や行政機関にケアマネジャーの役割の理解を促進します。
- ② 研修担当は、地域包括支援センターと連携しケアマネジャーの資質向上に努め年 4 回以上の研修（主任ケアマネジャー連絡会研修含む）主任ケアマネジャー連絡会の運営や、ケアマネジメント業務のシャドーワークやムリムダムラを省くため保険者と共に相談や介護DXを検討していきます。

現場のケアマネジャーのニーズ把握を行い、引き続き、東京都介護支援専門員研究協議会（日本介護支援専門員協会東京都支部）、日本介護支援専門員協会、日本介護支援専門員連盟との連携も強化していきます。

2. 訪問介護部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長(研修)&会計	畑野 由樹	ケアリッツ中野
副会長(認知症)	戸澤 由希子	ケアセンター希
副会長(交流会)	江田 舞	介護ステーションぽけっと
副会長(研修)	関本 貞治	みずたま介護ステーション
書記(研修)	大江 亮平	たんぽぽ介護
(研修)	田山 美紀	みずたま介護ステーション
(研修)	金子 洋平	ヘルパーステーション中野
(研修)	大江 亮平	たんぽぽ介護
(研修)	岩根 誠	クリオケアセンター
(研修)	秦 拓也	エイプレイス中野
(認知症)	五味 尚代	ヘルパーステーション中野の郷
(認知症)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷
(交流会)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(交流会)	白須 明日香	らいふ・ふれあい介護
(交流会)	田村 竜介	ケアセンター希
(交流会)	飯田 梨沙	東電さわやかケア中野
(交流会)	佐々木 美幸	東電さわやかケア中野
	宇田川 徹	ユースタイルケア新中野
	中山 一郎	ユースタイルケア新中野
	堀口 佳奈	ユースタイルケア新中野

(令和7年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会・交流会	
6月	定例役員会	
7月	全体研修	
8月	定例役員会	
9月	定例役員会	
10月	交流会・定例役員会	
11月	定例役員会 介護の日PRイベント	
12月	忘年会	
1月	定例役員会	
2月	定例役員会	
3月	全体研修	

※開催場所はスマイルなかの3階会議室で、18:30~20:30に実施する

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修費		45,000	
介護の日ポスター パネル代・カラーコピー代 交流会費		5,000	
合 計		50,000	0

○ 訪問介護部会活動方針

今年度はさらに研修や交流会などを通じ、他職種や同じ訪問介護事業所との交流を密にし、訪問介護が抱える問題が改善されるように行動していきます。

中野区での訪問介護の現状を意見交換やアンケート調査を行いながら把握し、介護現場の声を区に届け、共に対策を考えていきます。

交流会などを通じ各部会とより連携を深め、定期的な研修を行い、地域のヘルパー研修の技術・知識の向上を図ります。

3. 通所介護部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事 業 所
会 長	望月 仁弘	デイサービスセンター江古田の森
副会長	西川 陽平	デイサービス宙
運営委員	高森 千春	パルシステム東京 デイサービスセンター中野陽だまり「だんらん」
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら
広 報	塚本 夏香	デイサービスセンターふじみ苑
	大草 良仁	SOMPO ケア新中野
研 修	西川 陽平	デイサービス宙
	田中 美抄子	中野共立診療所通所リハビリテーション
会 計	山口 幸美	松ヶ丘高齢者在宅センター
イベント	川井 美季	デイサービスひばり福寿苑
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら

(令和7年度活動計画)

日 程	活動内容	備考（場所）
4 月	全体会実施 総会	
5 月	全体会実施	
6 月	全体会実施	
7 月	全体会実施	
8 月	全体会実施	
9 月	全体会実施	

10月	全体会実施	
11月	全体会実施 介護の日	
12月		
1月	全体会実施	
2月	全体会実施 研修	
3月	全体会実施	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師代		30,000	
その他		20,000	
合 計	50,000	50,000	0

○ 通所介護部会活動方針

令和7年度は、区内通所部会への参加するメリットを伝え、各事業所の悩みや実態を共有できる仲間を更に増やしていこうと考えています。

昨年、行えた各部会との連携や情報共有、交流会や研修開催、スキルアップや知識の向上を無駄にしないように努めていきます。新規事業所の参加もあり、毎月、気軽に参加ができるようにどのようにしたら良いのかも考えていきたいです。

4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	米倉 雄介	株式会社アースシステム
副会長・会計	上野山 成人	あけぼの介護センター
広 報	宮川 秀一郎	ケアヘルス中野
監 査	加藤 宗義	ダスキンヘルスレント新宿ステーション
書 記	山路 尚範	株式会社アースシステム

(令和7年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4月	事業所連絡会総会	
5月	定例会	
6月	定例会	
7月	定例会	
8月	定例会	
9月	定例会	
10月	中野区との意見交換会	

	定例会	
11 月	介護の日（中野区役所）福祉用具の展示 定例会	
12 月		
令和 8 年 1 月	定例会	
2 月	定例会	
3 月	定例会 部会主催研修	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
広報費		10,000	
研修講師費		15,000	
その他(駐車場代等)		5,000	
合 計	30,000	30,000	0

○福祉用具・住宅改修部会活動方針

福祉用具専門相談員及び福祉用具プランナーは、ケアチームの一員として他職種や専門家と連携を取りながら、福祉用具に関する適切な知識の習得と適用に関する技術の向上を通じて、地域社会貢献に役立てるような活動を目指します。

- ① 福祉用具・住宅改修に関する理解を深めていただけるよう区内の活動(イベント)に積極的に参加していきます。
- ② 中野区の活動に協力していただける福祉用具事業所を増やし、情報の共有や連携を図り、福祉用具・住宅改修事業所の交流の場となるような部会活動を目指します。
- ③ 福祉用具専門相談員の知識・技術力の向上を目的とした部会内研修に取り組みます。

5. グループホーム部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	羽鳥 竜生	コル・テンボ薬師の家
副会長	奈良 亜香希	たのしい家中野江古田
会 計	林 麗紅	東京令和館

(令和7年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	総会	
5 月	定例会	
6 月	定例会	
7 月	定例会	

8月	定例会	
9月	定例会	
10月	定例会	
11月	定例会	
12月	定例会	
1月	定例会/ガイドブック作成	
2月	研修会	
3月	GH交流会	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代		30,000	
GH集いの会		10,000	
その他（予備費）		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○グループホーム部会活動方針

部会出席率を上げることを第一目標とします。今年度は介護の日イベント作品展により多くの作品を展示できればと考えています。

引き続きガイドブックを更新（データでの配布）し、地域の皆様がグループホームを知るきっかけや理解、探す際の手助けに繋げ、部会内でも情報共有し、新規入居に繋げていきます。

6. 訪問看護部会

（令和7年度役員体制）

役職	氏名	事業所
会長	神野 真紀	あけぼの訪問看護ステーション
副会長	山田 万亀	訪問看護ステーション ホームケア中野
	佐藤 靖子	訪問看護リハビリステーション だるま
	椎名 真紀	ユーススタイルケア中野訪問看護
書記	角谷 奏穂	ケアプロ訪問看護ステーション東京
	大脇	訪問看護ステーション ホームケア都立家政
	久保 貴恵	さくら訪問看護ステーション
会計	松井 薫	中野区医師会訪問看護ステーション
会計監査	妻倉	新渡戸記念訪問看護ステーション

(令和 7 年活動計画)

日程	係	備考
4 月	・ 訪問看護部会 ・ BCP (随時実施)	
5 月	・ 役員会	
6 月	・ 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・ 中野区地域精神保健連絡協議会 (年 2 回未定) ・ 訪問看護部会 ・ 東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員 (年 2・3 回看護部会開催時)	
7 月	・ 役員会 ・ 中野区防災訓練実行委員会 (防災係)	
8 月	・ 訪問看護部会 (懇親会)	
9 月	・ 研修係 ・ 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・ 区西部緩和ケア部会 ・ 役員会	
10 月	・ 訪問看護部会 ・ 中野区防災訓練実行委員会 (防災係)	
11 月	・ 中野区総合防災訓練 (南部・北部) ・ イベント係 ・ 役員会	
12 月	・ 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・ 区西部緩和ケア部会 ・ 中野区地域精神保健連絡協議会 (年 2 回未定) ・ 訪問看護部会 ・ 東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員 (年 2・3 回看護部会開催時)	
1 月	・ 看護部会 ・ 区西部緩和ケア部会	
2 月	・ 研修係 ・ 区西部緩和ケア部会 ・ 役員会	
3 月	・ 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・ 訪問看護部会 (懇親会含)	

○令和 7 年度訪問看護部会活動方針

部会を通じて、参加している訪問看護ステーション同士の連携を強化し現場での課題に対しての改善策の検討をします。また、訪問看護師全体の質の向上を図るために研修等を実施します。他部会と意見交換を行いながら協力関係をさらに強くしていきます。訪問看護部会として役割を充実させるべく一丸となって取り組んでまいります。

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師謝礼		40,000	
その他（会場費、 雑費等）		10,000	
合計	50,000	50,000	0

7. 介護老人福祉施設部会

（令和7年度 役員体制）

会長	松永 謙一	（ 東京令和館 中野 ）
副会長	川村 将大	（ おたきほうむ ）
会計	中島 寛子	（ 江古田の森 ）
	竹田 真司	（ 弥生ホーム ）
中野区介護サービス 事業所連絡会運営委員	松永 謙一	（ 東京令和館 中野 ）
	川村 将大	（ おたきほうむ ）

（令和7年度活動計画）

＊対面式を年3回予定

日程	活動内容	備考
4 月	定例役員会	
5 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
6 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
7 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
8 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
9 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
10 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
11 月	定例役員会、合同研修及び情報共有、 介護の日イベント	
12 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
1 月	定例役員会	
2 月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
3 月	定例役員会	

(研修予定)

日程	研修・交流会 内容
5 月	介護保険法全般について (Web)
6 月	介護職員の指導・育成について (事例検討会・対面式)
7 月	採用活動 (人材確保) について (Web)
8 月	虐待防止について (Web)
9 月	ICT 機器の情報共有 (対面式)
10 月	クレーム対応について (外部講師・WEB)
11 月	感染症対応について (Web)
12 月	施設防犯対策について (外部講師・警察 対面式)
2 月	ハラスメント研修 (外部講師・WEB)

○ 介護老人福祉施設部会活動方針

介護老人福祉施設においては、定期的に合同研修かつ情報交換を行い、中野区にある特別養護老人ホーム全体の適正な運営及びサービス内容の質の向上を目指していきます。

- ① 年 9 回の研修・交流活動を今年度も実施し、それぞれの事業所における課題解決に取り組みます。
- ② 役員は毎月定例会で情報交流等を行ない各施設の運営へ活かすものとします。
- ③ 中野区内の他の介護サービス部門と交流や連携を図ります。
- ④ 作成した特養ガイドブックの更新・作成を行います。

○ 予算 (案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
特養ガイドブック 製本費 (400 部)		40,000	
その他		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

8. 小規模多機能型居宅介護部会

(令和 7 年度役員体制)

役職	氏名	事業所
部会長	野澤 光太郎	倶楽部千代田會館
副会長(会計)	江寄 静	愛の家上高田
副会長	小畑 理恵子	えごたの家

(令和7年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4月17日	定例会	
5月15日	定例会	
6月19日	交流・研修会	ふくろうの家
7月17日	定例会（要望書作成）	
8月21日	定例会	
9月18日	交流・研修会	m i k e t a 中野弥生町
10月16日	定例会	職員交流会
11月20日	定例会 介護の日イベント	
12月18日	定例会	職員交流会
1月15日	定例会（事業計画・報告作成）	
2月19日	定例会	職員交流会
3月19日	定例会	

第三木曜日 14 時—15 時予定

交流・研修会は1施設2名まで

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
リーフレット印刷		20,000	
リーフレット郵送		20,000	
ガイドブック印刷		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○ 小規模多機能型居宅介護部会活動方針

- ・令和7年度は引き続き、小規模多機能を多くの方に知っていただける様な仕組み作り（例えば、ガイドブック作成やリーフレットの送付、各地域の民生委員の集まりに参加など）をしていきたいと思ひます。
- ・令和7年度の研修会は、部会内の小規模多機能型居宅介護の施設間見学会、職員交流会を実施し、お互いの運営状況の理解、職員育成を促進していききたいと思ひます。
- ・定例会で、事業所間の情報交換をしっかりと行い、日々の運営に活かしていきます。
- ・中野区の介護の日イベントに積極的に参加し、小規模多機能型居宅介護の認知度の向上を目指します。
- ・「介護のお困り事相談会（仮称）」開催に向け企画検討を行い、中野区内での小規模多機能居宅介護の認知度向上及び地域の福祉ニーズに応えます（開催は令和8年度を目指す）。

第2号議案—2

中野区介護サービス事業所連絡会2025(令和7)年度予算

単位:円

		科 目	内 容	7年度予算額
1	収入	会費収入	@5,000円×114 @8,000円×62 @1,000円×5	1,071,000
		広報・啓発補助金		500,000
		2024年度繰越金		369,604
		利子収入		50
		合 計		1,940,654

単位:円

		科 目	内 容	7年度予算額
2	支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、交通費等	80,000
		部会活動費	8部会	380,000
		イベント参加費用等	介護の日福祉用具展示、健康づくり事業、地域連携事業等	20,000
		介護サービス事業功労者表彰	賞状印刷代、筆耕代、通信費等	130,000
		広報活動費	広報紙、パンフレット、ホームページ維持経費等・区民向け広報・啓発費、通信、ZOOMアカウント費	560,000
		事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000
		予備費		60,654
		合 計		1,940,654

第3号議案

2025年度 中野区介護サービス事業所連絡会 運営委員(案)

	氏 名	所 属	備 考(前職等)
委 員	花堂 浩一	株式会社アスモ、たんぽぽ介護	会長
委 員	森 京子	みつ葉居宅介護支援事業所	副会長
委 員	白岩 裕子	しらさぎ桜苑	副会長
委 員	戸澤 由希子	ケアセンター希	副会長
委 員	竹田 真司	やよいほうむ	副会長
★委 員	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所	介護支援員専門員部会
委 員	畑野 由樹	ケアリッツ中野坂上	訪問介護部会
委 員	関本 貞治	みずたま介護ステーション	訪問介護部会
委 員	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぶりむら	通所介護部会
委 員	高森 千春	パルシステム東京 デイサービスセンター中野陽だまり「だんらん」	通所介護部会
委 員	米倉 雄介	株式会社アースシステム	福祉用具・住宅改修部会
★委 員	上野山 成人	あけぼの介護センター	福祉用具・住宅改修部会
★委 員	羽鳥 竜生	コル・テンポ薬師の家	グループホーム部会
★委 員	奈良 亜香希	たのしい家中野江古田	グループホーム部会
委 員	鈴木 法経	カリス訪問看護ステーション	訪問看護部会
★委 員	毛利 裕香	ひなた訪問看護ステーション中野	訪問看護部会
委 員	松永 謙一	東京令和館 中野	介護老人福祉施設部会
★委 員	川村 将大	おたきほうむ	介護老人福祉施設部会
委 員	野澤 光太郎	倶楽部千代田會館	小規模多機能型居宅介護部会
★委 員	江崎 静	愛の家上高田	小規模多機能型居宅介護部会
★委 員	小畑 理恵子	えごたの家	小規模多機能型居宅介護部会
委 員	齊藤 稔	社会医療法人社団 健友会	
委 員	岩根 誠	クリオケアセンター	
委 員	鈴木 靖夫	弥生居宅介護支援事業所	
委 員	佐藤 英郎	たんぽぽ介護	
監 事	駒野 登志夫	社会福祉法人 武蔵野療園	